

令和4年度 進路だより

わくわくワーク 第3号

令和4年11月2日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

秋が深まり、木々の葉も色付いてまいりました。今回は、本校の進路支援に関する活動についてお知らせします。

「第1回インターンシップ推進委員会」(7月25日(月)開催)

インターンシップ推進委員会は、児童生徒一人一人に応じたよりよい進路支援ができるように、企業や福祉関係者などの外部委員を交えて意見交換を行う委員会で、年2回開催されます。

第1回の委員会は、本校の進路支援の取り組みや卒業生の進路先、アフターケアの状況、在校生の第1回就業体験の評価と課題について外部委員の方々から意見をいただきました。

各委員のご意見を一部紹介します。



本校の取り組みについて

- ・支援を確実に積んで次に繋ぐ仕組みを作ることが大事であると感じます。
- ・卒業後は、いかに働き続けるかが課題であり、1人でできるストレスの発散方法を身に付けて欲しいと思います。
- ・事業所での日中活動や自立課題の作成、余暇の過ごし方については、いかに人生を楽しむかという視点も考慮し、学校と連携して取り組んでいく必要があると思います。

就業体験について

- ・日頃から企業や事業所での作業内容を意識した学習をしている様子で、手早く作業に取り組んでいると感心しました。

大切と思われることについて

- ・自分で買いたいものや食べたいものを決めるという意思決定ができていない人が多いように思います。自分で決めて自分でやれる経験、自分の思いを伝えられる経験を小さい頃からしていくことが大事であり、意思決定支援の大切さを感じています。

1月末には第2回インターンシップ推進委員会を行います。そこでは1年間の進路支援の取組を報告し、ご意見をいただく予定にしています。

「高等部進路学習会」(7月25日(月)開催)

富山市福祉保健部障害福祉課から2名の講師をお迎えし、高等部3年生の保護者を対象にした進路学習会を行いました。当日は、「障害福祉サービスについて」「卒業後利用できるサービスについて」「障害福祉サービスを受けるまで」「障害基礎年金について」という内容で、各障害福祉サービスの説明や必要な手続きなどについて分かりやすく説明していただきました。



「先輩こんにちは」(9月27日(火)開催)

今年度は3年ぶりに一般企業、就労継続支援B型事業所で働いていらっしゃる卒業生が来校し、仕事の様子や卒業後の生活について、生徒に直接話をしてくださいました。また、生活介護事業所で働かれている卒業生からは、事前に動画を撮らせていただき話を聞かせてもらいました。参加した中学部・高等部の生徒たちは真剣に話を聞いたり質問をしたりして、有意義な時間を過ごすことができました。



先輩方の仕事を紹介します



<平成30年度卒業生>

[勤務先] 株式会社 不二越 (一般企業)

ベアリングの包装とリング入れの仕事をされています。クレームを出さないように丁寧に仕事をしたり、型番を間違えないように気を付けたりしながら働かれているとのこと。



<平成30年度卒業生>

[勤務先] 特定非営利活動法人愛知報恩会 FUN FARM のづみ野
(就労継続支援B型事業所)

おやきや団子づくり、イベント、販売の仕事をされています。短時間で素早く焼いていくことが大変だけれど、職場の方に教えてもらいながら丁寧に作ることを頑張っておられるとのこと。



<令和2年度卒業生>

[勤務先] 特定非営利活動法人クラシース わくわくファームきらり
(生活介護事業所)

除草、ほうれん草の枯れ葉取り、配達、タオル畳みなどの仕事をされています。草をむしったり、むしり終えた草を運んだりする仕事は暑くて大変だけれど、続けて頑張っておられるとのこと。

仕事を継続するために大切なことを聞きました

<先輩の話より>

- ・自分から進んで行動したり、挨拶をしっかりしたりすること
- ・好きなことを見つけること
- ・失敗を恐れずいろいろなことにチャレンジすること

<勤務先の方より>

- ・指示通りに進められることや、分からないことを周りの人に聞く力を身に付けること
- ・今のうちから『どんなときに楽しいと感じるか』『どんなことが面白いと思うのか』を確認し、自分の好きなことに合う仕事を選ぶこと
- ・落ち着いて過ごせること
- ・自分の行動を見直すことで、多くの人から愛される存在になること

今回先輩や勤務先の方から教えていただいた、働くために必要な力や卒業後の生活にとって大切なことを意識して、学校生活や学習に取り組んでいきたいと思います。